

福岡工業大学学則（案）

第1章 総 則

第1節 目 的

（目的）

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、工業及び環境に関する専門の学術を研究、教授し、もって科学の進歩向上に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

第1条の2 教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 実施方法については、別に定める。

第2節 組 織

（学部、学科及び学生定員）

第2条 本学に、次の学部を置く。

- （1）工学部
- （2）情報工学部
- （3）社会環境学部

2 工学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	360人
生命環境科学科	90人	360人
知能機械工学科	110人	440人
電気工学科	90人	360人
計	380人	1,520人

3 情報工学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
情報工学科	130人	520人
情報通信工学科	90人	360人
情報システム工学科	90人	360人
システムマネジメント学科	65人	260人
計	375人	1,500人

4 社会環境学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
社会環境学科	160人	30人	700人

（教育研究上の目的）

第2条の2 前条に定める各学科及び第39条に定める教職課程の教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

(大学院)

第2条の3 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関し必要な事項は、別に定める。

(附属図書館)

第3条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規程は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第4条 本学に、次の学内共同教育研究施設を置く。

名 称		目 的
総合 研究 機 構	エレクトロニクス研究所	エレクトロニクス並びに関連する分野の研究を行うと共に、学内における研究の奨励・援助を図り、併せて地域の産業の発展に協力する。
	情報科学研究所	情報科学並びに関連する分野の研究を行うと共に、本学の情報関連分野の研究の奨励・援助を図り、併せて地域産業の発展に協力する。
	環境科学研究所	環境並びに関連する分野の研究を行うと共に、学内における研究の奨励・援助を図り、併せて環境管理の側面より地域産業の発展に協力する。
情報処理センター		研究教育用電子計算機並びに情報処理関連施設を運営管理し、研究教育の用に供する。
工作センター		工作機械装置等を管理運用し、研究及び教育の用に供すると共に、加工・工作技術の向上開発を図り、併せて科学技術の発展に資する。

(FD 推進機構)

第4条の2 本学に、FD 推進機構を置く。

2 FD 推進機構に関し必要な事項は、別に定める。

(総務部・財務部・入試広報部・教務部・学生部)

第5条 本学に、総務部、財務部、入試広報部、教務部及び学生部を置く。

第3節 職員の種類

(職員の種類)

第6条 本学に、学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、事務職員及び技術職員を置く。

2 教育研究の円滑な実施に必要な業務を行うために、助手を置くことができる。

第4節 教授会

(構成)

第7条 本学の各学部に、重要事項を審議するため教授会を置く。

2 教授会は、学部長、専任の教授、准教授、講師及び助教で構成する。

(審議事項及び運営)

第8条 教授会は次の事項を審議する。

(1) 教育課程及びその履修に関すること

- (2) 入学、退学、休学、復学、転学、留学、卒業、学位、除籍及び賞罰等学生の身上に関する事
 - (3) 教員の人事に関する事
 - (4) 学則その他学内諸規程に関する事
 - (5) その他本学の運営に関する重要事項
- 2 教授会の運営に関し、必要な事項は福岡工業大学教授会規程により定める。

第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を次の2期に分ける。

前 期 4月1日より9月30日まで

後 期 10月1日より翌年3月31日まで

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 本学の開学記念日 11月5日
 - (4) 春季休業 3月21日から4月10日まで
 - (5) 夏季休業 8月1日から9月30日まで
 - (6) 冬季休業 12月25日から翌年1月9日まで
- 2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 学 部

第1節 修業年限等

(修業年限)

第12条 学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第13条 学生は、8年を超えて在学することができない。

ただし、第19条第1項の規定により入学した学生は、同19条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第2節 入 学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

- 2 特別の必要があり、教育上支障がないときは、入学の時期を学期の始めとすることができる。

(入学の資格)

第15条 本学に入學することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者
 - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 - (7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 2 前項に掲げる者のほか、高等学校に在学し校長が推薦する者は、科目等履修生として入學を認めることがある。

(入學の出願)

第16条 本学に入學を志願する者は、入學願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて、指定の期日までに願出しなければならない。

(入學者の選考)

第17条 前条の入學志願者については、別に定めるところにより、教授会の議を経て選考を行う。

(入學手続き及び入學許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに所定の書類を提出するとともに、所定の入學金を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入學手続きを完了した者に入學を許可する。

(転入學、編入學)

第19条 次の各号の一に該当する者で、本学への入學を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考の上、相当年次に入學を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者又は退學した者
 - (2) 短期大学又は高等専門学校等を卒業した者
- 2 前項の規定により、入學を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在學すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

第3節 休學、復學、転學、転學部、転學科、留學、退學、除籍及び再入學

(休學)

第20条 疾病その他やむを得ない理由により、4ヶ月以上修學することができない者は、学長の許可を得て休學することができる。

(休學期間)

第21条 休學期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休學期間の延長を認めることができる。

- 2 休學期間は、通算して2年を超えることができない。
- 3 休學期間は、第13条の在學期間に算入しない。

(復學)

第 22 条 休学期間中に、その理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第 23 条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。ただし、在学期間 1 年未満の学生が新たに大学を受験しようとするときは、退学しなければならない。

(転学部及び転学科)

第 23 条の 2 転学部及び転学科は、志願する学生本人の願い出により、教授会の議を経て学長がこれを許可することができる。

2 転学部及び転学科に関して必要な事項は、別に定める。

(留学)

第 24 条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、1 年を限度として第 37 条に定める在学期間に含めることができる。

(退学)

第 25 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第 26 条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

(1) 授業料その他の納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第 13 条に定める在学年限を超えた者

(3) 第 21 条に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

(4) 死亡又は長期にわたり行方不明の者

(再入学)

第 27 条 第 25 条及び第 26 条第 1 号の規定により退学し、又は除籍された者については、本人の願い出により、教授会の議を経て、学長がこれを再入学させることができる。

第 4 節 教育課程及び履修方法等

(授業科目及び単位)

第 28 条 授業科目は、教養教育科目、スキル教育科目、専門基礎科目、及び専門教育科目に分ける。但し、社会環境学部については専門基礎科目の区分を設けない。

2 授業科目は、必修科目及び選択科目に分ける。

3 授業科目の種類、必修、選択科目及び単位数等は、別表 2 のとおりとする。

(単位の算出方法)

第 29 条 授業科目の単位の算出は、1 単位の学修時間を教室内及び教室外を合わせて 45 時間とし、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(1 年間の授業時間)

第 30 条 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則とする。

(履修年次及び方法)

第31条 学生は、別に定める履修要項に従い履修しなければならない。

(単位の授与)

第32条 授業科目を履修し、その試験に合格した学生には、所定の単位を与える。ただし、卒業研究、演習、実験、実習、及び実技等の授業科目については、試験以外の方法で、学修の成果を評価して単位を与えることができる。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第33条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学（以下この項において「他大学等」という。）との協議に基づき、学生に当該他大学等の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により修得した授業科目の単位については、30単位を超えないものとし、教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

3 前2項の規定は、学生が外国の大学又は外国の短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第34条 教育上有益と認めるときは、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て、単位を与えることができる。

2 前項の規定により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第33条第2項の単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第35条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において履修した授業科目及び修得した単位（第43条の規定により履修した授業科目及び修得した単位を含む。）については、教授会の議を経て、卒業の要件となる授業科目及び単位として認定することができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て卒業の要件となる単位を与えることができる。

3 前2項の規定により認める単位は、編入学、転入学等の場合を除き、30単位を超えないものとする。

(成績の評価)

第36条 授業科目の試験の成績は、優、良、可及び不可の四段階をもって表示し、優、良及び可を合格とする。但し、教育上有益と認めるときは、優の上位に秀を設けることができる。

第5節 卒業及び学位授与

(卒業)

第37条 本学の学部にて4年（第19条第1項及び第27条の規定により入学した者については、それぞれ定められた在学すべき年数）以上在学し、第28条第3項別表2に定める所定の授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した学生については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- (1) 工学部
 - イ 教養教育科目は、人文社会分野から 14 単位以上、保健体育分野から 2 単位、合計 16 単位以上。
 - ロ スキル教育科目は、外国語分野から 8 単位以上、キャリア形成分野から 2 単位以上。
 - ハ 専門基礎科目と専門教育科目は、必修科目の全部を含め、92 単位以上。
 - ニ 教養教育科目、スキル教育科目、専門基礎科目及び専門教育科目から 14 単位以上。
 - ホ 総計 132 単位以上。
 - (2) 情報工学部
 - イ 教養教育科目は、人文社会分野から 14 単位以上。
 - ロ スキル教育科目は、外国語分野から 8 単位以上、キャリア形成分野から 2 単位以上。
 - ハ 専門基礎科目と専門教育科目は、必修科目の全部を含め、84 単位以上。
 - ニ 教養教育科目、スキル教育科目、専門基礎科目、及び専門教育科目から 16 単位以上。
 - ホ 総計 124 単位以上。
 - (3) 社会環境学部
 - イ 教養教育科目は、必修科目の全部を含め、合計 24 単位以上。
 - ロ スキル教育科目は、外国語から 12 単位以上、情報処理から 8 単位以上、必修科目の全部を含め、合計 20 単位以上。
 - ハ 専門教育科目は、基礎科目から 12 単位、基幹科目から 6 単位、基幹科目（前記 6 単位を除く）又は展開科目から 50 単位以上、ゼミナールから 12 単位、必修科目の全部を含め、80 単位以上。
 - ニ 総計 124 単位以上。
- 2 技術者教育を目的とする教育プログラムの修了認定を希望する学生の卒業に関する必要な事項は、別に定める。

(学位授与)

第 38 条 学長は卒業を認定した者に、学士の学位を授与し「卒業証書・学位記」を交付する。

2 学位授与に関し必要な事項は、別に定める。

第 6 節 教員の免許

(教員の免許状取得のための所要資格)

第 39 条 教育職員免許法の定めるところにより、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状を得ようとする者は、第 37 条に規定する科目のほか、別表 3 に規定する科目の単位を修得しなければならない。

2 前項の所要条件を満たし、取得できる教員の免許状の種類は次のとおりとする。

学部	学 科	免許状の種類（免許教科）
工 学 部	電子情報工学科 生命環境科学科 知能機械工学科 電気工学科	高等学校教諭一種免許状（工業）
	生命環境科学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）
情 報 工 学 部	情報工学科 情報通信工学科 情報システム工学科 システムマネジメント学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学）
	情報工学科 情報通信工学科 情報システム工学科 システムマネジメント学科	高等学校教諭一種免許状（情報）
境 学 部 社 会 環 境	社会環境学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）

第3章 通 則

第1節 賞 罰

（表彰）

第40条 表彰に値する行為があった学生は、学長が表彰することができる。

（懲戒）

第41条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（1）性行不良で改善の見込みがない者

（2）正当の理由がなく出席状況の著しく悪い者

（3）本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第2節 厚生施設

（学生寮）

第42条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関し必要な事項は、別に定める。

第3節 科目等履修生、研究生及び外国人留学生

（科目等履修生）

第43条 本学において、1又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、

本学の教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を授与することができる。

2 科目等履修生に関し、必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第44条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第45条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として1年次に入学、2年次、3年次に編入学、又は科目等履修生若しくは研究生として入学を許可することがある。

2 前項の外国人留学生に対しては、第28条に定める授業科目のほか、日本語及び日本事情の科目を置く。

3 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第4節 検定料、入学金及び授業料等

(授業料等)

第46条 学生は、授業料等（以下この節において、授業料、施設設備費、実験実習費、図書費及び学生厚生費を含む。）を納入しなければならない。

(検定料、入学金及び授業料等の額)

第47条 本学の検定料、入学金及び授業料等の額は別表4のとおりとする。

(授業料等の徴収)

第48条 授業料等は、年額の2分の1ずつを次の2期に分けて徴収する。

区 分	納 期
第1期（4月1日から9月30日まで）	4月20日まで
第2期（10月1日から翌年3月31日まで）	9月30日まで

(休学期間中の授業料等)

第49条 休学を許可された者の授業料等は、休学した月の翌月から復学した月の前月までの額を免除する。

(退学、除籍及び停学の場合の授業料等)

第50条 1期又は2期途中で退学し、又は除籍された者の授業料等は、当該期分を徴収する。

2 停学期間中の授業料等は、徴収する。

(授業料等の免除及び徴収の猶予)

第51条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又はその他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料等の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

2 奨学生制度については、別に定める。

(科目等履修生、研究生等の検定料、入学金及び授業料等)

第 52 条 科目等履修生、研究生及び外国人留学生の科目等履修生、同研究生の検定料、入学金及び授業料等については、別に定める。

(納付した授業料等)

第 53 条 納付された検定料、入学金及び授業料等は返付しない。

第 5 節 公 開 講 座

(公開講座)

第 54 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することがある。

第 6 節 そ の 他

第 55 条 この学則の改正は、教授会の議を経なければならない。

附 則

学則第2条第2項の規定にかかわらず、昭和61年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	総定員
電 子 工 学 科	1 2 0 人	4 8 0 人
電子材料工学科	8 0 人	3 2 0 人
電子機械工学科	1 2 0 人	4 8 0 人
管 理 工 学 科	1 0 0 人	4 0 0 人
電 気 工 学 科	1 2 0 人	4 8 0 人
情 報 工 学 科	1 8 0 人	7 2 0 人

附 則

- 1 福岡工業大学学則（昭和38年4月1日から施行）の全部を改正し、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 この学則は、昭和63年4月1日改正する。
- 3 この学則は、平成元年4月1日改正する。
- 4 この学則は、平成2年4月1日改正する。

附 則

- 5 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
ただし、学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員
電 子 工 学 科	130 人
電子材料工学科	120 人
電子機械工学科	140 人
管 理 工 学 科	120 人
電 気 工 学 科	130 人
情 報 工 学 科	200 人

附 則

- 6 この学則は、平成3年9月1日から施行する。
- 7 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 8 この学則は、平成4年10月1日から施行する。
- 9 この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 10 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 11 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 12 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 13 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電 子 工 学 科	130 人	520 人
電 子 材 料 工 学 科	120 人	480 人
電 子 機 械 工 学 科	140 人	560 人
電 気 工 学 科	130 人	520 人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120 人	480 人
情 報 通 信 工 学 科	80 人	320 人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60 人	240 人
管 理 情 報 工 学 科	60 人	240 人

14 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電 子 工 学 科	130 人	520 人
機 能 材 料 工 学 科	120 人	480 人
電 子 機 械 工 学 科	140 人	560 人
電 気 工 学 科	130 人	520 人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120 人	480 人
情 報 通 信 工 学 科	80 人	320 人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60 人	240 人
管 理 情 報 工 学 科	60 人	240 人

15 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成11年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電 子 工 学 科	130 人	520 人
機 能 材 料 工 学 科	120 人	480 人
知 能 機 械 工 学 科	140 人	560 人
電 気 工 学 科	130 人	520 人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120 人	480 人
情 報 通 信 工 学 科	80 人	320 人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60 人	240 人
管 理 情 報 工 学 科	60 人	240 人

附 則

16 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	120人	510人	115人	495人	105人	470人
機 能 材 料 工 学 科	110人	470人	100人	450人	90人	420人
知 能 機 械 工 学 科	140人	560人	130人	550人	130人	540人
電 気 工 学 科	120人	510人	115人	495人	105人	470人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	100人	440人	90人	410人
機 能 材 料 工 学 科	80人	380人	80人	350人
知 能 機 械 工 学 科	120人	520人	110人	490人
電 気 工 学 科	100人	440人	90人	410人

(2) 情報工学部

学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

附 則

17 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	110人	490人	100人	460人
機 能 材 料 工 学 科	80人	430人	80人	390人
知 能 機 械 工 学 科	120人	540人	110人	510人
電 気 工 学 科	100人	480人	90人	440人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	90人	420人	80人	380人
機 能 材 料 工 学 科	80人	350人	80人	320人
知 能 機 械 工 学 科	100人	470人	80人	410人
電 気 工 学 科	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

附 則

18 この学則は、平成14年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	100人	460人	90人	420人	80人	380人
機能材料工学科	80人	390人	80人	350人	80人	320人
知能機械工学科	110人	510人	100人	470人	80人	410人
電気工学科	90人	440人	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

附 則

19 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成15年度及び平成16年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	420人	80人	380人
機能材料工学科	80人	350人	80人	320人
知能機械工学科	100人	470人	80人	410人
電気工学科	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人	60人	240人

附 則

20 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	380人	80人	350人	80人	330人
機能材料工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
知能機械工学科	100人	430人	100人	410人	100人	400人
電気工学科	80人	350人	80人	330人	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	80人	260人	80人	280人	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

附 則

21 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成17年度から平成18年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	350人	80人	330人
生命環境科学科	80人	320人	80人	320人
知能機械工学科	100人	410人	100人	400人
電気工学科	80人	330人	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	80人	280人	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人	60人	240人

附 則

22 この学則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

23 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成18年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成18年度	
	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	330人
生命環境科学科	80人	320人
知能機械工学科	100人	400人
電気工学科	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成18年度	
	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人
情報システム工学科	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人

附 則

24 この学則は、平成18年5月1日から施行する。

附 則

25 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

26 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

27 この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

28 この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

29 この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

30 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

31 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

32 この学則は、平成27年4月1日から施行する。

別表1 学則第2条の2に係る各学科及び教職課程の教育研究上の目的

学 科	教育研究上の目的
電子情報工学科	現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。
生命環境科学科	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。
知能機械工学科	情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。
電 気 工 学 科	日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。
情 報 工 学 科	コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システムLSIなどの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。
情報通信工学科	今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。
情報システム工学科	情報処理基盤技術、情報ネットワーク、システムLSI、知能情報処理、ロボット工学、制御工学などの専門知識に加え、技術者倫理、高いコミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力、計画実行力、生涯学習能力を身につけさせるための教育を行い、国際的に活躍できる情報システム技術者の人材の養成を目的とする。
システムマネジメント学科	高度に情報化、国際化が進む現代社会において、企業の生産管理技術と情報管理技術について、経営、生産、メディアの観点から基礎的な素養を身につける教育を行い、それらの知識に裏付けされた人間哲学に基づいてシステムのマネジメントを行える人材の養成を目的とする。
社会環境学科	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、個人・企業・社会全体の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。
教 職 課 程	教職の意義、教育の原理及び人間の発達を理解し、将来の教育者としての専門的知識、方法技術さらに実践的能力を高めるとともに、使命感及び倫理観と教育的愛情を育む人材の養成を目的とする。

別表 2

学則第 28 条第 3 項に係る授業科目の種類、必修、選択科目及び単位数等について

1. 工学部

(1) 教養教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
人文社会分野	九州学	2				2	選択 13科目中7科目、14 選択 単位以上取得。 選択 ただし、外国人留 選択 学生は15科目中 選択 7科目、14単位以上 選択 取得。 選択 選択 選択 選択 選択 必修 選択 選択 *外国人留学生科目 選択 *外国人留学生科目
	日本近代思想史		2			2	
	比較文学			2		2	
	現代倫理			2		2	
	日本国憲法	2				2	
	日常生活と法	2				2	
	産業と法	2				2	
	経済と社会	2				2	
	近代経済学論		2			2	
	大衆社会論	2				2	
	認知心理学			2		2	
	コミュニケーション基礎	2				2	
	海外事情	2				2	
日本事情 I	2				2		
日本事情 II	2				2		
自然科学分野	生命と生態系	(2)	(2)			2	選択
	地球と環境	(2)	(2)			2	選択
	物質と化学	(2)	(2)			2	選択
	自然と科学	(2)	(2)			2	選択
保健体育分野	健康運動学	2				2	必修
	健康科学		2			2	選択
	スポーツ科学		2			2	選択

注) () 内はいずれかの学年で開講する。

(3) 専門基礎科目及び専門教育科目

(ア) 電子情報工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	電子情報基礎数学 A	2				2	選択
	電子情報基礎数学 B	4				4	選択
	電子情報数学	4				4	必修
	線形代数 I		2			2	必修
	線形代数 II		2			2	選択
	微分方程式		2			2	必修
	偏微分・重積分		2			2	選択
	初等統計学			2		2	選択
	物理概論	2				2	選択
	物理学 I	2				2	必修
	物理学 II		2			2	必修
現代物理学			2		2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
電子情報基礎科目	電子工学基礎	2				2	必修
	論理回路	2				2	必修
	電磁気学 I	2				2	必修
	電磁気学 II		2			2	選択
	電子計測基礎		2			2	必修
	制御工学			2		2	必修
デバイス系科目	電子物性		2			2	必修
	電子デバイス I			2		2	必修
	電子デバイス II			2		2	必修
	集積回路工学 光エレクトロニクス			2		2	選択
回路系科目	電気回路 I	2				2	必修
	電気回路 II		2			2	必修
	電気回路 III		2			2	必修
	電子回路 I		2			2	必修
	電子回路 II		2			2	必修
	アナログ回路 応用アナログ回路			2		2	必修

情報システム系科目	プログラミングⅠ	2				2	必	修
	プログラミングⅡ	2				2	必	修
	プログラミング演習		2			2	必	修
	応用プログラミング			2		2	選	択
	コンピュータ工学		2			2	必	修
	コンピュータシステム		2			2	必	修
	コンピュータ計測		2			2	必	修
	デジタル信号処理			2		2	必	修
共通科目	技術者倫理		2			2	選	択
	技術英語		2			2	選	択
	プレゼンテーション			2		2	選	択
	IE技術展望			2		2	選	択
	情報技術資格Ⅰ		2			2	選	択
	情報技術資格Ⅱ			2		2	選	択
	無線技術資格		2			2	選	択
	組込み基礎			2		2	必	修
	組込みシステム			2		2	必	修
	ロボット工学入門	2				2	必	修
	ロボットビジョン			2		2	必	修
	物理・電子情報基礎実験	2				2	必	修
	電子情報実験Ⅰ		2			2	必	修
	電子情報実験Ⅱ		2			2	必	修
	電子情報実験Ⅲ			2		2	必	修
	創成実験			2		2	選	択
電子工学総合				2	2	必	修	
情報工学総合				2	2	必	修	
卒業研究				6	6	必	修	

(イ) 生命環境科学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	基礎数学	2				2	必修
	解析Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅱ	2				2	必修
	応用数学	2				2	必修
	統計解析		2			2	選択
	数値解析		2			2	選択
	基礎物理学	2				2	必修
	物理学Ⅰ	2				2	必修
	物理学Ⅱ		2			2	必修
	生物物理学		2			2	選択
	物理学実験			2		2	選択
	基礎化学	1				1	選択
	化学Ⅰ	2				2	必修
	化学Ⅱ	2				2	必修
	化学実験	2				2	必修
	基礎生物学	1				1	選択
	生物学	2				2	必修
	生物学実験		2			2	必修
地球科学		2			2	選択	
地球科学実験				2	2	選択	
コンピュータ言語		2			2	必修	
科学実験入門	2				2	必修	

B. 専門教育科目

区 分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考
		1年	2年	3年	4年	計	
生命環境科学基礎	生命環境科学ゼミナールⅠ			1		1	必修
	生命環境科学ゼミナールⅡ			1		1	必修
	環境エネルギー資源化学特論	2				2	必修
	生物資源利用学概論	2				2	必修
	物理化学Ⅰ		2			2	必修
	物理化学Ⅱ		2			2	必修
	物理化学Ⅲ			2		2	必修
	物理化学Ⅰ演習		1			1	必修
	物理化学Ⅱ演習		1			1	必修
	分析化学		2			2	必修
	機器分析化学		2			2	必修
	環境分析化学		2			2	必修
	機器分析化学実験		2			2	必修
	有機化学Ⅰ		2			2	必修
	有機化学Ⅱ		2			2	必修
	無機化学				2	2	必修
環境化学Ⅰ		2			2	選択	
環境化学Ⅱ		2			2	選択	
生物化学Ⅰ		2			2	必修	
生物化学Ⅱ		2			2	必修	
生命環境科学専門	物質系科目	エネルギー循環工学			2	2	選択
		無機固体化学			2	2	選択
		固体物質工学			2	2	選択
		資源循環工学			2	2	選択
		環境浄化工学			2	2	選択
		環境物質工学実験			2	2	選択
		化学工学Ⅰ			2	2	選択
		化学工学Ⅱ			2	2	選択
		電気化学			2	2	選択
		ナノマテリアル化学			2	2	選択
物質・生命 共通科目	高分子工学 コロイド化学			2	2	選択	
				2	2	選択	

生命環境科学専門	生命系科目	酵素化学			2		2	選	択
		応用微生物学			2		2	選	択
		分子生物学			2		2	選	択
		遺伝子工学			2		2	選	択
		環境生命工学実験			2		2	選	択
		生物有機化学			2		2	選	択
		栄養化学			2		2	選	択
食品学実験			2		2	選	択		
食品基礎科目	食品化学			2		2	選	択	
	食品分析学			2		2	選	択	
	食品衛生学			2		2	選	択	
	毒性学			2		2	選	択	
	環境衛生学		2		2	2	選	択	
微生物学		2		2	2	選	択		
食品微生物学			2		2	選	択		
アドバンス科目	先端環境科学演習	2				2	選	択	
	先端環境科学実験Ⅰ		2			2	選	択	
	先端環境科学実験Ⅱ		2			2	選	択	
	技術英語			2		2	選	択	
	生産技術倫理			2		2	選	択	
卒業研究	卒業研究				6	6	必	修	

(ウ) 知能機械工学科

A. 専門基礎科目

区 分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	数 学 基 礎 演 習	2				2	必 修 必 修 必 修 選 択 *2 必 修 選 択 選 択 選 択 *2 必 修 必 修 必 修 選 択
	線 形 代 数 I	2				2	
	解 析 I 及 び 演 習	4				4	
	線 形 代 数 II		2			2	
	解 析 II		2			2	
	微 分 方 程 式		2			2	
	解 析 III		2			2	
	確 率 と 統 計		2			2	
	物 理 基 礎 演 習	2				2	
	物 理 学 I 及 び 演 習	4				4	
機 械 物 理 学 実 験	2				2		
物 理 学 II		2			2		

B. 専門教育科目

区 分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考
		1年	2年	3年	4年	計	
機械基礎学	ものづくり基礎実習	4				4	必 修 必 修 必 修 必 修 必 修 必 修 必 修 必 修
	熱 力 学 I		2			2	
	熱 力 学 II			2		2	
	流 体 力 学 I		2			2	
	流 体 力 学 II			2		2	
	機 械 力 学 I		2			2	
	機 械 力 学 II			2		2	
	材 料 力 学 II		2			2	
知能機械設計学	基 礎 製 図 I	2				2	必 修 必 修 必 修 選 択 *2 選 択 *1 選 択 *1 選 択 *1
	基 礎 製 図 II	2				2	
	知 能 機 械 設 計 I		4			4	
	知 能 機 械 設 計 II			4		4	
	C A D シ ス テ ム		2			2	
	C A D / C A M シ ス テ ム		2			2	
	デ ジ タ ル エ ン ジ ニ ア リ ン グ			2		2	
知能生産工学	機 械 材 料		2			2	必 修 必 修 選 択
	生 産 技 術 史	2				2	
	機 械 工 作 法 I		2			2	
機 械 工 作 法 II			2		2		

知能計測制御工学	電気基礎学Ⅰ		2			2	必修 必修 選択*1 選択*1 選択 選択
	電気基礎学Ⅱ		2			2	
	モータ制御工学			2		2	
	ロボット制御工学Ⅰ			2		2	
	ロボット制御工学Ⅱ			2		2	
	計測工学			2		2	
共通科目	知能機械基礎実験Ⅰ		2			2	必修 必修 必修 選択*2 選択 選択 必修
	知能機械基礎実験Ⅱ		2			2	
	技術者倫理		2			2	
	英語プレゼンテーション			2		2	
	産業人基礎教育			2		2	
	知能機械制御言語及び演習		2			2	
	知能機械創成実験			2		2	
卒業研究	卒業研究				6	6	必修

(注1) *1の科目を知能機械設計コースの必修科目とする。

(注2) *2の科目を知能機械創成コースの必修科目とする。

(エ) 電気工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	電気基礎数学 A	2				2	必修
	電気基礎数学 B	2				2	必修
	解析 I	2				2	必修
	解析 II		2			2	必修
	線形代数 I	2				2	必修
	線形代数 II		2			2	選択
	解析 III		2			2	必修
	解析 IV			2		2	選択
	微分方程式		2			2	選択
	電気基礎物理学	2				2	必修
物理学 I	2				2	必修	
物理学 II		2			2	必修	
物理学 III		2			2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
共通科目	電気学 I	2				2	必修
	電気学 II	2				2	必修
	電気学 III		2			2	必修
	電気回路 I	2				2	必修
	電気回路 II	2				2	必修
	電気回路 III		2			2	必修
	電気回路 IV		2			2	必修
	電気計測		2			2	必修
就業力育成科目	技術者倫理		2			2	必修
	プレゼンテーション		2			2	選択
情報処理科目	コンピュータリテラシー応用	2				2	必修
	プログラミング言語		2			2	必修

実験・実習科目	電気工学概論	2				2	必	修
	電気工学フレッシュマン演習	2				2	必	修
	電気基礎学実験		2			2	必	修
	電気工学実験Ⅰ			2		2	必	修
	電気工学実験Ⅱ			2		2	必	修
	エンジニアリングデザインⅠ		2			2	必	修
	エンジニアリングデザインⅡ			4		4	選	択
	メカトロニクスⅠ		2			2	必	修
	メカトロニクスⅡ			2		2	選	択
卒業研究				6	6	必	修	
システム工学	電気機器Ⅰ	2				2	必	修
	電気機器Ⅱ		2			2	必	修
	電気機器Ⅲ		2			2	必	修
	パワーエレクトロニクス			2		2	選	択
	電気機器設計・製図			2		2	選	択
電子回路・物性デバイス工学	基礎物質工学	2				2	必	修
	電子回路Ⅰ	2				2	必	修
	電子回路Ⅱ		2			2	選	択
	半導体工学		2			2	必	修
	積回路		2			2	選	択
デジタル回路			2		2	選	択	
システム制御工学	システム制御工学Ⅰ		2			2	必	修
	システム制御工学Ⅱ			2		2	選	択
	現代制御			2		2	選	択
電気エネルギーシステム工学	電気エネルギーシステム工学Ⅰ		2			2	必	修
	電気エネルギーシステム工学Ⅱ		2			2	必	修
	電気エネルギーシステム工学Ⅲ			2		2	選	択
	電気エネルギーシステム工学Ⅳ			2		2	選	択
	電気法規及び施設管理		2			2	選	択
	高電圧・プラズマ			2		2	選	択
	電気応用			2		2	選	択
電験・総合科目	電験理論		2			2	選	択
	電験電力			2		2	選	択
	電験機械			2		2	選	択
	電験法規			2		2	選	択
	電気工学総合			2		2	必	修
関連科目	機械工学概論			2		2	選	択
	通信工学概論			2		2	選	択

2. 情報工学部

(1) 教養教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考	
		1年	2年	3年	4年	計		
教養教育科目	人文社会分野	九州学	2				2	選択 14科目中7科目、14 選択 単位以上取得。 選択 ただし、外国人留 選択 学生は16科目中7 選択 科目、14単位以上 選択 取得。 選択 選択 選択 選択 選択 選択 必修 選択 選択 *外国人留学生科目 選択 *外国人留学生科目
		日本近代思想史		2			2	
		文理学	2				2	
		倫理学	2				2	
		哲学			2		2	
		日本国憲法		2			2	
		日常生活と法	2				2	
		産業と法				2	2	
		経済と社会学	2				2	
		近代経済学		2			2	
		大衆社会学論		2			2	
		認知心理学	2				2	
		コミュニケーション基礎	2				2	
		海外事情	2				2	
日本事情Ⅰ	2				2			
日本事情Ⅱ	2				2			
自然科学分野	生命と生態系		2			2	選 択 選 択 選 択 選 択	
	地球と環境学	2				2		
	物質と化学		2			2		
保健体育分野	自然と科学	2				2	選 択 選 択	
	健康運動学		2			2		
健康科	2				2			

(2) スキル教育科目

区 分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備 考			
		1年	2年	3年	4年	計				
スキル教育科目	外国語分野	英 語 初 級 I	2				2	選択	24科目中4科目、 8単位以上取得、 うち英語8単位を 含む。 ただし、外国人 留学生は26科目中 4科目、8単位以上 うち英語8単位を 含む。	
		英 語 初 級 II	2				2	選択		
		英 語 初 級 III		2			2	選択		
		英 語 初 級 IV		2			2	選択		
		英 語 中 級 I	2				2	選択		
		英 語 中 級 II	2				2	選択		
		英 語 中 級 III		2			2	選択		
		英 語 中 級 IV		2			2	選択		
		英 語 上 級 I	2				2	選択		
		英 語 上 級 II	2				2	選択		
		英 語 上 級 III		2			2	選択		
		英 語 上 級 IV		2			2	選択		
		ブラッシュアップイングリッシュI				2		2		選択
		ブラッシュアップイングリッシュII				2		2		選択
		ブラッシュアップイングリッシュIII					2	2		選択
		ブラッシュアップイングリッシュIV					2	2		選択
		ド イ ツ 語 I				2		2		選択
		ド イ ツ 語 II				2		2		選択
		中 国 語 I	2					2		選択
		中 国 語 II	2					2		選択
		フ ラ ン ス 語 I				2		2		選択
		フ ラ ン ス 語 II				2		2		選択
		韓 国 語 I	2					2		選択
		韓 国 語 II	2					2		選択
		日 本 語 I	2					2		選択
		日 本 語 II	2					2		選択
形成分野	キャリア形成 日本語表現 就業実習	2				2	必修			
		2				2	選択			
			2☆	2☆		2	選択			

注) ☆印はいずれかの学年で履修可能。

(3) 専門基礎科目及び専門教育科目

(ア) 情報工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数 I	2				2	必修
	線形代数 II	2				2	選択
	基礎数学	2				2	選択
	解析 I	2				2	必修
	解析 II		2			2	選択
	基礎物理学	2				2	選択
	物理学 I	2				2	必修
	物理学 II		2			2	選択
	離散数学		2			2	選択
	現代幾何学			2		2	選択
	解析 III		2			2	選択
	基礎電磁気学		2			2	選択
	幾何学的情報数学		2			2	選択
	微分方程式			2		2	選択
応用代数学			2		2	選択	
複素関数論			2		2	選択	
情報物理学			2		2	選択	
応用幾何学				2	2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報基礎学	情報基礎ゼミナール	2				2	必修
	コンピュータリテラシー	2				2	必修
	コンピュータ科学	2				2	必修
	確率統計論		2			2	必修
	オートマトンと形式言語		2			2	必修
	情報工学特別講義			2		2	必修
	情報理論			2		2	選択
	数理計画法		2			2	選択
	情報技術者倫理			2		2	必修
	英語プレゼンテーション				2	2	選択

コンピュータソフトウェア工学	CプログラミングⅠ	2				2	必	修
	CプログラミングⅡ	2				2	必	修
	オペレーティングシステム		2			2	必	修
	データ構造とアルゴリズム		2			2	必	修
	人工知能プログラミング		2			2	選	択
	ソフトウェア工学Ⅰ			2		2	選	択
	ソフトウェア工学Ⅱ			2		2	選	択
	JAVAプログラミングⅠ		2			2	必	修
	情報工学実験Ⅲ			2		2	必	修
	ネットワークプログラミング			2		2	選	択
	JAVAプログラミングⅡ		2			2	選	択
HCIプログラミング			2		2	選	択	
情報工学実験Ⅳ			2		2	必	修	
コンピュータハードウェア工学	電気回路Ⅰ	2				2	必	修
	電気回路Ⅱ	2				2	選	択
	コンピュータアーキテクチャⅠ	2				2	必	修
	電子回路		2			2	選	択
	論理回路		2			2	必	修
	コンピュータアーキテクチャⅡ		2			2	選	択
	情報工学実験Ⅰ		2			2	必	修
	論理設計		2			2	選	択
	情報機器工学		2			2	選	択
	情報工学実験Ⅱ		2			2	必	修
	情報ネットワーク			2		2	必	修
デジタルシステム設計			2		2	選	択	
集積回路工学			2		2	選	択	
知能情報メディア工学	マルチメディア工学	2				2	選	択
	データベース		2			2	選	択
	人工知能基礎		2			2	選	択
	自然言語処理		2			2	選	択
	コンピュータグラフィックス		2			2	選	択
	人工知能応用		2			2	選	択
	デジタル信号処理			2		2	選	択
	知能ロボット工学			2		2	選	択
	ヒューマンコンピュータ・インタラクション			2		2	必	修
	情報セキュリティ			2		2	選	択
	音情報処理			2		2	選	択
画像情報処理			2		2	選	択	
パターン認識			2		2	選	択	
共通	情報技術資格Ⅰ		2			2	選	択
	情報技術資格Ⅱ			2		2	選	択
	卒業研究				6	6	必	修

(イ) 情報通信工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	基礎数学	2				2	選択
	基礎物理学	2				2	選択
	電気基礎学	2				2	必修
	微分積分・演習Ⅰ	2				2	選択
	微分積分・演習Ⅱ		2			2	選択
	微分積分応用		2			2	選択
	微分方程式			2		2	選択
	複素関数論			2		2	選択
	線形代数Ⅰ・演習		2			2	必修
	線形代数Ⅱ・演習		2			2	選択
	応用線形代数論			2		2	選択
	数理暗号理論			2		2	選択
	数理符号化理論				2	2	選択
	物理学Ⅰ	2				2	選択
	物理学Ⅱ		2			2	選択
自然現象とシミュレーション		2			2	選択	
量子工学				2	2	選択	
量子情報科学				2	2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報アーキテクチャ工学	情報科学概論	2				2	必修
	情報セキュリティ		2			2	選択
	グラフ理論とオートマトン			2		2	選択
	コンピュータアーキテクチャ	2				2	必修
	ネットワークアーキテクチャ		2			2	選択
	ネットワークマネジメント			2		2	選択
	コンピュータリテラシー	2				2	必修
	データ構造とアルゴリズム		2			2	選択
	データベース		2			2	選択
	プログラミング演習Ⅰ	2				2	必修
	プログラミング演習Ⅱ		2			2	必修
	プログラミング演習Ⅲ		2			2	必修
	オブジェクト指向概論			2		2	選択
	オブジェクト指向プログラミング			2		2	選択
	ネットワークプログラミング				2	2	選択

情報デザイン工学	ソフトウェア概論	2				2	必 選 選 選 選 選 選 選 選 選	修 択 択 択 択 択 択 択 択 択
	オペレーティングシステム	2				2		
	情報メディア		2			2		
	マルチメディア幾何理論			2		2		
	コンピュータグラフィックス			2		2		
	システム設計・開発	2				2		
	プロジェクトマネジメント		2			2		
	情報ストラテジ		2			2		
	ネットワーク概論	2				2		
	ネットワークサービス		2			2		
ネットワークデザイン				2	2			
アプリケーション演習	2				2			
エンドユーザコンピューティング	2				2			
Webデザイン			2		2			
通信基礎工学	情報通信基礎数学	2				2	選 選 選 選 選 選 選	択 択 択 択 択 択 択
	情報通信工学Ⅰ		2			2		
	情報通信工学Ⅱ		2			2		
	デジタル信号処理Ⅰ			2		2		
	デジタル信号処理Ⅱ			2		2		
	通信工学演習			2		2		
	情報理論		2			2		
通信法			2		2			
通信システム工学	電気回路基礎・演習	2				2	選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選	択 択 択 択 択 択 択 択 択 択 択 択 択 択
	電気回路応用・演習		2			2		
	電子回路Ⅰ		2			2		
	電子回路Ⅱ		2			2		
	情報交換システム			2		2		
	デジタル回路Ⅰ		2			2		
	デジタル回路Ⅱ		2			2		
	計測工学Ⅰ			2		2		
	計測工学Ⅱ			2		2		
	磁気学・演習Ⅰ		2			2		
	磁気学・演習Ⅱ		2			2		
	電磁波工学Ⅰ			2		2		
	電磁波工学Ⅱ			2		2		
	光ファイバ通信工学				2	2		
	情報伝送工学Ⅰ			2		2		
情報伝送工学Ⅱ			2		2			
モバイルコミュニケーション工学				2	2			
共通	技術者倫理	2	2			2	必 選 選 必 選 必	修 択 択 修 修 修 修
	基礎ゼミナール			2		2		
	技術英語Ⅰ			2		2		
	技術英語Ⅱ				2	2		
	情報工学基礎実験		4			4		
	情報工学応用実験			4		4		
情報工学創成実験			2		2			
卒業研究				6	6			

(ウ) 情報システム工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数Ⅰ	2				2	必修 選択(※) 必修 必修 選択(※) 選択(※) 選択 選択 選択
	線形代数Ⅱ	2				2	
	数学演習	2				2	
	解析Ⅰ	2				2	
	解析Ⅱ	2				2	
	解析Ⅲ		2			2	
	応用微分方程式		2			2	
	現代幾何学			2		2	
	応用代数学			2		2	
応用幾何学				2	2		

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報基礎工学	コンピュータ基礎数学	2				2	必修 必修 選択(※) 必修 必修 必修 必修 必修 選択(※) 必修 選択(※) 選択(※) 選択(※) 選択(※)
	技術基礎数学	2				2	
	情報技術史		2			2	
	情報科学概論	2				2	
	情報科学基礎演習	2				2	
	電気電子工学基礎	2				2	
	電気回路	2				2	
	論理回路		2			2	
	電子回路	2				2	
	確率統計		2			2	
	情報解析学Ⅰ		2			2	
	情報解析学Ⅱ			2		2	
	情報技術者倫理		2			2	
	テクニカルライティング アカデミックプレゼンテーション			2		2	
			2		2		
情報工学	プログラミング基礎	2				2	必修 必修 選択(※) 必修 選択(※) 選択(※) 選択(※) 選択(※) 選択(※)
	CプログラミングⅠ	2				2	
	CプログラミングⅡ		2			2	
	計算機工学Ⅰ	2				2	
	計算機工学Ⅱ		2			2	
	応用プログラミングⅠ		2			2	
	マルチメディアデータ通信		2			2	
	応用プログラミングⅡ			2		2	
	情報ネットワークシステム		2			2	

情報工学	コンピュータグラフィックス 画像処理工学 先端技術展望 人工知能		2 2 2 2		2 2 2 2	選 選 選 選	択 択 択 択(※)
システム工学	センサ情報処理 生体システム論 システム制御工学Ⅰ システム制御工学Ⅱ デジタル制御工学 基礎ロボット工学 知能ロボット工学 メカトロアクチュエータ ロボットシミュレーション システム L S I 基礎 組み込みソフトウェア システム L S I 応用		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選	択(※) 択(※) 択(※) 択(※) 択 択(※) 択(※) 択 択(※) 択(※) 択
共通	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 情報技術資格Ⅰ 情報技術資格Ⅱ フレッシュマンプログラム 情報システム基礎実験 情報処理工学実験 情報システム工学概論 システム情報工学実験 卒業研究	2 2 2 2 2 4 4 2 2			2 2 2 2 2 4 4 2 2 6 6	必 選 選 選 必 必 必 必 必 必	修 択 択 択 修 修 修 修 修 修

注) (※) 印の科目を情報システム技術コースのコース必修科目とする。

(エ) システムマネジメント学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数 I	2				2	選択
	線形代数 II	2				2	選択
	解析 I		2			2	選択
	解析 II		2			2	選択
	微分方程式			2		2	選択
	マルチメディア幾何理論				2	2	選択
	数理暗号理論			2		2	選択
	数理符号化理論				2	2	選択
	基礎数学	2				2	選択
	確率統計 I	2				2	必修
	物理学 I	2				2	選択
	物理学 II	2				2	選択

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
システムマネジメント基礎	情報処理 I	2				2	必修
	オフィス情報処理	2				2	選択
	情報処理 II		2			2	選択
	システムマネジメント基礎	2				2	必修
	プレゼンテーション基礎	2				2	選択
	プログラミング基礎	2				2	選択
	DTP入門	2				2	選択
	コンピュータグラフィックス入門	2				2	選択
	情報数学 I	2				2	必修
	情報数学 II		2			2	選択
	確率統計 II		2			2	選択
	システムマネジメント基礎実験		4			4	必修
経営システム	経営システム論	2				2	必修
	経営管理論		2			2	必修
	情報システム論		2			2	必修
	経営計算論		2			2	選択
	オペレーションズリサーチ I	2				2	必修
	オペレーションズリサーチ II		2			2	選択
	環境マネジメント			2		2	選択

経営システム	e-ビジネス論 オフィスネットワークシステム 福祉サービスネットワーク マーケティング論 ベンチャービジネス論		2		2		2	選 選 選 選	択 択 択 択
生産システム	情報技術史 プロダクションマネジメント スポーツマーケティング 人間工学 オペレーションマネジメント スポーツマネジメント 品質マネジメント 電子工学概論 計測工学 システムマネジメント応用実験		2 2 2 2 2 2 2 4			2 2 2 2 2 2 2 4	選 必 選 選 必 選 選 選 選 選	択 修 択 択 修 択 択 択 択 択	
情報メディアシステム	メディア科学Ⅰ メディア科学Ⅱ マルチメディア情報処理 ウェブデザイン メディア制作 プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ マルチメディアデータベース コンピュータ基礎学 インタラクティブコンテンツ	2	2 2 2 2 2 2 2			2 2 2 2 2 2 2 2 2	必 選 必 選 選 選 選 選 選 選	修 択 修 択 択 択 択 択 択 択	
関連科目	特別講義 知的所有権と法 システム管理技術者資格 基本情報技術者資格				2 2 2 2	2 2 2 2	選 選 選 選	択 択 択 択	
・ゼミナール 卒業研究	システムマネジメントゼミナールⅠ システムマネジメントゼミナールⅡ 卒業研究		4 4			4 4 6	必 必 必	修 修 修	

3. 社会環境学部

社会環境学科

(1) 教養教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考	
		1年	2年	3年	4年	計		
教養教育科目	言語表現	日本語表現Ⅰ	2				2	選択 必修
		日本語表現Ⅱ	2				2	
		コミュニケーション基礎		2			2	
	キャリア	キャリア形成Ⅰ	2				2	必修 選択
		キャリア形成Ⅱ		2			2	
		キャリア形成Ⅲ			2		2	
	自然	環境基礎調査法	2				2	選択 選択 選択 選択
		生活の中の数学	2				2	
		文系のための環境科学入門	2				2	
		環境と自然		2			2	
	文化	人間と倫理	2				2	選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択
		九州の歴史と文化	2				2	
		日本近代の思想		2			2	
		異文化コミュニケーション		2			2	
		歴史学概論		2			2	
		地理学概論		2			2	
		海外事情	2				2	
		日本事情Ⅰ	2				2	
	日本事情Ⅱ	2				2		
	社会	現代社会と法	2				2	選択 選択
		国際関係の歴史と日本		2			2	
	健康	生涯のスポーツ	2				2	必修 選択 選択
		心のしくみ	2				2	
		健康の科学		2			2	
ゼミ	教養ゼミナール	4				4	必修 選択 選択	
	環境基礎演習Ⅰ	2				2		
	環境基礎演習Ⅱ		2			2		

(2) スキル教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考				
		1年	2年	3年	4年	計					
スキル教育科目	外国語	英語初級Ⅰ	2				2	選択	24科目中6科目、12単位以上取得、うち英語8単位を含む。 ただし、外国人留学生は26科目中6科目、12単位以上、うち英語8単位を含む。		
		英語初級Ⅱ	2				2	選択			
		英語初級Ⅲ		2				2		選択	
		英語初級Ⅳ		2				2		選択	
		英語中級Ⅰ	2					2		選択	
		英語中級Ⅱ	2					2		選択	
		英語中級Ⅲ		2				2		選択	
		英語中級Ⅳ		2				2		選択	
		英語上級Ⅰ	2					2		選択	
		英語上級Ⅱ	2					2		選択	
		英語上級Ⅲ		2				2		選択	
		英語上級Ⅳ		2				2		選択	
		ブラッシュアップイングリッシュⅠ				2		2		選択	
		ブラッシュアップイングリッシュⅡ				2		2		選択	
		ブラッシュアップイングリッシュⅢ					2	2		選択	
		ブラッシュアップイングリッシュⅣ					2	2		選択	
		フランス語Ⅰ				2		2		選択	
		フランス語Ⅱ				2		2		選択	
		中国語Ⅰ	2					2		選択	
		中国語Ⅱ	2					2		選択	
		韓国語Ⅰ	2					2		選択	
		韓国語Ⅱ	2					2		選択	
		ドイツ語Ⅰ				2		2		選択	
		ドイツ語Ⅱ				2		2		選択	
		日本語Ⅰ	2					2		選択	*外国人留学生科目
		日本語Ⅱ	2					2		選択	*外国人留学生科目
情報処理	情報検索入門	2				2	必修				
	コンピューターリテラシーA	2				2	必修				
	コンピューターリテラシーB	2				2	必修				
	メディアプレゼンテーション		2			2	選択				
	統計データ処理Ⅰ		2			2	選択				
	統計データ処理Ⅱ		2			2	選択				
	データベース			2		2	選択				

(3) 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考		
		1年	2年	3年	4年	計			
専門教育科目	基礎科目	社会環境学Ⅰ(総論)	2				2	必	修
		社会環境学Ⅱ(経済と環境)	2				2	必	修
		社会環境学Ⅲ(法律と環境)	2				2	必	修
		社会環境学Ⅳ(人間と環境)	2				2	必	修
		経営学概論	2				2	必	修
		マクロ経済学	2				2	必	修
	基幹科目	ミクロ経済学		2			2	選	択
		企業論		2			2	選	択
		会計学		2			2	選	択
		環境経済学		2			2	選	択
		現代日本政治論Ⅰ	2				2	選	択
		憲法Ⅰ	2				2	選	択
		民法Ⅰ		2			2	選	択
		環境政策Ⅰ		2			2	選	択
		社会心理学		2			2	選	択
人間環境学		2			2	選	択		
環境社会学		2			2	選	択		
環境民俗学		2			2	選	択		
ゼミナール	ゼミナールⅠ		4			4	必	修	
	ゼミナールⅡ			4		4	必	修	
	ゼミナールⅢ				4	4	必	修	

(注) *基幹科目より6単位以上修得すること

専門教育科目	展開科目	ライフスタイルと環境	2				2	選	択
		社会学概論	2				2	選	択
		公共経済学		2			2	選	択
		経済発展論		2			2	選	択
		簿記論		2			2	選	択
		比較経営論		2			2	選	択
		アジア経済論		2			2	選	択
		経営情報システム論		2			2	選	択
		現代日本政治論Ⅱ	2				2	選	択
		憲法Ⅱ	2				2	選	択
		民法Ⅱ	2				2	選	択
		企業法Ⅰ	2				2	選	択
		環境政策Ⅱ	2				2	選	択
		行政過程論Ⅰ	2				2	選	択
		民俗学概論	2				2	選	択
地域社会学	2				2	選	択		

専門教育科目	展開科目	社会調査法 I	2		2	選	択
		社会調査法 II	2		2	選	択
		発達環境論	2		2	選	択
		社会環境学特殊講義 I		2	2	選	択
		社会環境学特殊講義 II		2	2	選	択
		財務会計論		2	2	選	択
		国際貿易論		2	2	選	択
		環境会計論		2	2	選	択
		経済政策論		2	2	選	択
		資源エネルギー政策論		2	2	選	択
		多国籍企業論		2	2	選	択
		経営分析論		2	2	選	択
		国際環境協力論		2	2	選	択
		環境管理論		2	2	選	択
		NP O 論		2	2	選	択
		行政過程論 II		2	2	選	択
		環境法 I		2	2	選	択
		環境法 II		2	2	選	択
		環境法 III		2	2	選	択
		環境判例演習 II		2	2	選	択
		企業法 I		2	2	選	択
		国際法 I		2	2	選	択
		国際法 II		2	2	選	択
		・政策の諸問題 I		2	2	選	択
		・政策の諸問題 II		2	2	選	択
		都市社会学 II		2	2	選	択
		社会統計学		2	2	選	択
		環境心理学		2	2	選	択
		生活環境論		2	2	選	択
		文化環境学		2	2	選	択
環境人類学		2	2	選	択		
環境教育論		2	2	選	択		
環境デザイン論		2	2	選	択		
人間行動学		2	2	選	択		
地域開発論		2	2	選	択		
一ヶテイング論		2	2	選	択		
国際環境論		2	2	選	択		
環境地		2	2	選	択		

別表3 学則39条第1項に係る教職課程に関する科目及び単位数

1. 工学部／電子情報工学科・生命環境科学科・知能機械工学科・電気工学科 (高等学校工業)

(1) 教職に関する科目については、次より25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2
教育方法論 2 工業科教育法Ⅰ 2 工業科教育法Ⅱ 2 特別活動論 2
生徒指導論 2 教育相談の基礎 2 教職実践演習(中・高) 2
教育実習Ⅰ 3

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

工業の関係科目
職業指導

2. 工学部／生命環境科学科(中学校理科、高等学校理科)

(1) 教職に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は31単位、高等学校教諭一種免許状は25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2
道德教育の研究 2 教育方法論 2 理科教育法Ⅰ 2 理科教育法Ⅱ 2
理科教育法Ⅲ 2 理科教育法Ⅳ 2 特別活動論 2 生徒指導論 2
教育相談の基礎 2 教職実践演習(中・高) 2
教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

イ 中学校理科

物理学
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)
化学
化学実験(コンピュータ活用を含む。)
生物学
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)
地学
地学実験(コンピュータ活用を含む。)

ロ 高等学校理科

物理学
化学
生物学
地学
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」

3. 情報工学部（中学校数学、高等学校数学）

(1) 教職に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は31単位、高等学校教諭一種免許状は25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2
道徳教育の研究 2 教育方法論 2 数学科教育法Ⅰ 2 数学科教育法Ⅱ 2
数学科教育法Ⅲ 2 数学科教育法Ⅳ 2 特別活動論 2 生徒指導論 2
教育相談の基礎 2 教職実践演習（中・高） 2
教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

代数学
幾何学
解析学
「確率論、統計学」
コンピュータ

4. 情報工学部（高等学校情報）

(1) 教職に関する科目については、次より25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2
教育行政学 2 教育方法論 2 情報科教育法Ⅰ 2
情報科教育法Ⅱ 2 特別活動論 2 生徒指導論 2
教育相談の基礎 2 教職実践演習（中・高） 2 教育実習Ⅰ 3

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

情報社会及び情報倫理
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）
情報システム（実習を含む。）
情報通信ネットワーク（実習を含む。）
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）
情報と職業

5. 社会環境学部（中学校社会、高等学校公民）

(1) 教職に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は31単位、高等学校教諭一種免許状は25単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2
道徳教育の研究 2 教育方法論 2 社会科教育法 2
社会科・公民科教育法Ⅰ 2 社会科・公民科教育法Ⅱ 2
特別活動論 2 生徒指導論 2 教育相談の基礎 2
教職実践演習（中・高） 2 教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

(2) 教科に関する科目については、次より20単位を修得するものとし、該当科目及び配当単位数は履修要項に定める。

イ 中学校社会

日本史及び外国史

地理学（地誌を含む。）

「法律学、政治学」

「社会学、経済学」

「哲学、倫理学、宗教学」

ロ 高等学校公民

「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」

「社会学、経済学（国際政治を含む。）」

「哲学、倫理学、宗教学、心理学」

6. 共通

教科又は教職に関する科目については、計16単位を修得するものとし、該当科目及び
配当単位数は履修要項に定める。

別表 4

学則第 47 条に係る検定料、入学金及び授業料等（単位：円）

1

検定料	大学入試センター試験利用志願者検定料
30,000	15,000

2

	入学金	授業料	施設 設備費	実験 実習費	図書費	学生 厚生費
工学部・ 情報工学部	220,000	780,000	250,000	88,000	10,000	19,000
社会環境学部	220,000	630,000	150,000	—	10,000	19,000

ただし、学則第 47 条別表 4-2 の規定に拘らず、平成 16 年度以前の入学生については次のとおりとする。

	入学金	授業料	施設 設備費	実験 実習費	図書費	学生 厚生費
工学部・ 情報工学部	220,000	730,000	250,000	88,000	10,000	19,000
社会環境学部	220,000	600,000	150,000	—	10,000	19,000